

 石川県立自然史資料館 第26回企画展 



日本海のエビ・カニ

 ~分類・生態から食文化まで~ 

2019年 1.19 土 — 6.9 日

会期中
無休

会場：石川県立自然史資料館 2F 企画展示室

〒920-1147 金沢市銚子町リ 441 番地

TEL: 076-229-3450 FAX: 076-229-3460

<http://www.n-muse-ishikawa.or.jp/>

入場
無料

日本海のエビ・カニ ~分類・生態から食文化まで~

エビ類



ウチワエビ



クルマエビ

カニ類



ケガニ



台湾ガザミ

ヤドカリ類



タラバガニ



オホーツクホンヤドカリ



海と川を回遊!? モクスガニ



成長に伴い性別が変わる!? ホッコクアカエビ (甘海老)



小動物を身に付けて隠れる!? ケセンガニ

北陸の海の幸と言えば、日本海で獲れるエビやカニなどの甲殻類を思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか?これらは季節の食卓を豊かにするとともに、私達の暮らしや文化・経済にも深く関わってきました。甲殻類の中でも、硬い甲羅を持ち、5対(10本)の脚を持つものは十脚類と呼ばれ、エビ類やカニ類は、ヤドカリ類とともにこのグループに含まれます。日本海の表層には対馬暖流が流れ、深海には冷たい日本海固有水と呼ばれる水塊が存在しています。このような独特の環境のおかげで暖海性と寒海性両方の種類が生息することが可能になり、日本海はエビやカニの宝庫と言われています。食用種であるズワイガニやベニズワイガニ、ホッコクアカエビ(甘海老)などが特に有名ですが、実は日本海には他にも多様な十脚類が生息しているのです。

この展示では、日本海に生息する様々な十脚類の標本や写真を展示し、その分類体系や形態的特徴、興味深い生態について解説します。また、エビやカニがモチーフとなっている美術品や日用品・グッズなども併せて展示します。



エビの形をしたライター



湯呑 (樂山焼)



近江町市場に並ぶ冬の味覚ズワイガニ



展示協力

本尾 洋 農学博士
(日本海甲殻類研究会)

交通案内



路線バスで 金沢駅東口バスターミナル



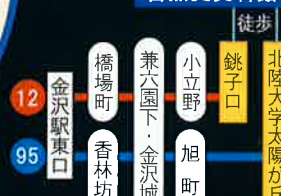
6番乗り場

『95 北陸大学太陽が丘ゆき』
『95 北陸大学薬学部ゆき』
→【北陸大学太陽が丘下車】
→徒歩約10分

7番乗り場

『12 湯涌温泉ゆき』
『12 北陸大学薬学部ゆき』
『12 北陸大学太陽が丘ゆき』
→【銚子口下車】
→徒歩約10分

自然史資料館



周辺図

周辺拡大図